



▲福岡の街中にも映えるまんま号。客層は年齢問わず様々で、お客様の中には「みなみの里」に訪れたことがある人もいらっしゃいました。今後は更に活動範囲を広げていきたいです。



4月からキッチンカー「まんま号」を使い、町の魅力のひとつである豊かな農産物をPRしています。春夏はかき氷、秋冬はスープの提供を予定しています。実際に取り組んでみて、かき氷は、氷の温度、削り方、気温、風、シロップの具合、掛け方、食べるタイミングなど様々な要素に大きく影響される、繊細で奥深い料理だと気づきました。先日、天神（福岡市役所前広場）で出店を行った時は、お弁当や特産品の販売も行ったのですが反応は上々でした。本年度は商品の開発と並行して、知名度を上げていく時期だと思っています。手づくりこだわった温かみのあるものづくりを心がけていきます（氷ですが）。

# 季節本番！心を込めて 最高の一杯をお届けします

地域おこし協力隊通信

いっちょやるばい!!



vol.11

原稿：岡崎  
デザイン：甘城



文月  
FUMIZUKI

## 筑前町の魅力発信 フォトコンテスト

春・夏の部

参加条件 筑前町で撮影した写真をInstagramでハッシュタグ「#ちくぜんフォト」をつけて投稿

受付期間 3月27日(月)～8月31日(木)

テーマ 筑前町の魅力が伝わる写真

※ 詳細は、ホームページを検索またはQRコード(下段)を読込

## 地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行う。その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。(任期：最長3年間)

筑前町地域おこし協力隊の活動をもっと知りたい方は公式ホームページからチェック！各SNSにもアクセスできます！

筑前町地域おこし協力隊

## イチニチクゼン

町内の人からすると何気ない日常。しかし、町外から来た地域おこし協力隊にとっては新発見！筑前町の良さを見つけるコーナー。

地域おこし協力隊 | ちくぜんの魅力デザイナー  
takuya\_amagi

移住してきて感動した風景「麦秋の麦畑」。見渡す限り黄金色に輝く麦畑がある筑前町は、連なる鉄塔と山のラインで切られた澄み渡る青空とのコントラストに感動しました。「麦秋」とは…麦の穂が実り、収穫期を迎えた初夏の季節のこと。麦にとっての“収穫の秋”であるという日本語の奥深さを感じます。

● 地域おこし協力隊通信記事の過去掲載分は公式ホームページに掲載しています。